

## ■Patisserie Lazry(パティスリーラズリー/株式会社Razry) (刈谷市南部商業発展会) 愛知県刈谷市

### ★事例のポイント

洋菓子店の従業員がオーナーから店を引継いだ事例。商店街活動に協力しながら、地域住民に愛される洋菓子店を目指す。

### ○事例概要

刈谷市南部商業発展会の洋菓子店における事例。前オーナーが市外に新規出店することを契機に、従業員である村松さんが同店を引継いだ。

ケーキ職人になり、自分の店をオープンさせることが夢であった村松さん。1年間の引継ぎ期間に株式会社を立ち上げ、承継後の経営権等の移行がスムーズにいくようにするなど、商工会議所のサポートの下、事業承継の準備を進めた。

店を引継いで3年目。前オーナーから引継いだ店の味を守りながら、オリジナリティも追求し、顧客の新規開拓を行っている。

### ○事業承継のきっかけ

「昔から、ケーキ職人になることが夢でした。」そう語る村松さんが、調理の専門学校に通いながら、アルバイトをしていたのが同店だ。当時の店名は「フォーレ」で、地元の有名洋菓子店であった。卒業後はレストランと洋菓子店に就職。その後、地元刈谷市内で洋菓子店を開きたいという思いから地元に戻り、フォーレに入社した。



事業を引き継いだ村松さん



Patisserie Lazry の外観

そして、6年ほど経ったある日、前オーナーから事業承継の話を持ち掛けられた。20年間の土地賃借の契約期限があと1年に迫っていたこと、また、それを機に前オーナーが市外に新規出店することがきっかけであった。

「30歳で自分の店を持つ夢があり、前オーナーもそれを知っていた。長い間一緒に働いていて、信頼してくれていたから自分に声をかけてくれたんだと思う。少し早いけど、タイミングとしてはちょうど良かったと思う。」

そうして約1年間の引継ぎ期間を経て、店名を「PatisserieLazry (パティスリーラズリー)」に改め、リニューアルオープンさせた。

### ○店を引継ぐまでの流れ

引継ぎ期間は1年間。その間に、金融機関への融資の相談や、商工会議所の経営指導員への保険・運転資金の相談などを行った。前オーナーの知人の洋菓子店を訪ね歩いて、経営のノウハウを学ぶこともあった。

また、事業を引継ぐ前に、株式会社を立ち上げ、譲渡後の経営権・資産等の移行をスムーズに行えるように準備をした。一方、前オーナーは取引業者や地主との交渉を進めてくれていたという。その結果、今でも大部分の業者との取引が継続しており、土地も10年間の更新契約ができた。

「普段はとても優しい前オーナーだが、事業承継が決まってからはとても厳しかった。そのおかげで、店を継ぐことに対し、より一層の覚悟を持てたと思う。前オーナーのことは、今でも師匠として尊敬しています。」と語る村松さん。事業を引継いで2年経つが、今でも年に数回は元オーナーを訪ね、相談するような間柄だという。

### ○事業承継の感想

村松さんは「常連客がいたために、承継後も一定の売り上げが確保されていたことは事業承継のメリットだったと思う。また、従業員を引き続き雇用することができたため、ベテラン従業員からのフォローが受けられたことも大きい。新たな人を雇うのは難しく、募集をかけてもなかなか集まらない。そうした中、昔からお店を支え続けてくれる従業員がいるのは大変ありがたいことだと思う。」と話してくれた。

販売方法や商品の提供方法を変えたため、承継して間もない時には以前のスタイルと比べられることも多かったが、承継して2年経った今では、お客さんに好評を得ているそうだ。

### ○商店街活動への参加と事業展望

パティスリーラズリーでは、地域住民にさらに愛される洋菓子店を目指すために、商店街活動に参加している。村松さんは「商店街活動に参加することで、地域との繋がりを感ずることができる。イベントに参加することが好きなので、これからも積極的に活動に関わっていきたい。」と話してくれた。

例えば、刈谷市南部商業発展会が企画するスタンプラリーイベントにおいては、参加する子供たちがお店に足を運んでくれると、それに付き添う親がケーキを買っていってくれる。そうした商店街事業に参加することによって、直接的な売り上げへの効果もあるようだ。

土地の契約期間は10年間。今のところ、更新の予定は無いようだ。自分のお店を持つことが夢であった村松さん。10年後には、新たな自分の店をオープンさせたいそうだ。

#### こだわりの逸品

#### 「オペラ」

チョコレートが好きな村松さんが特にこだわったケーキ、オペラ。異なった生地を幾層にも重ね、コクのある濃厚な味わいの逸品である。



### ■刈谷市南部商業発展会

- ・刈谷市内の4町の商店が集まり、平成20年に設立された発展会。
- ・毎年夏には「なんブーちゃんフェスタ」と呼ばれるお祭りを、会員である青果市場内で開催し、多くの人でにぎわう。
- ・また、上記イベントの開催に合わせ、スタンプラリーイベントを開催しており、会員店舗で6つのスタンプを集めると、景品が当たるビンゴ大会への参加ができる。
- ・WEBページ：<https://nanboochan123.jimdo.com/>



商店街キャラクター  
「なんブーちゃん」

## ■事業承継3つのポイント

### 1. 法人から法人への引継ぎ

- ・承継前の店は有限会社であった。会社の譲渡による承継は行わず、前オーナーは、市外で同じ法人としてケーキ店をオープンさせた。
- ⇒承継前に株式会社を立ち上げ、「有限会社フォーレ」から「株式会社 Razry」に資産を含む経営権を譲渡した。



ケーキが並ぶショーケース

### 2. ベテラン従業員によるサポート

- ・事業承継によりベテラン従業員を引継ぐことができ、店舗経営の強い味方に。



店内の飲食スペース

### 3. 商店街活動への参画による店舗の認知度向上

- ・商店街が企画するスタンプラリーイベントに協力することで、地域の子供たちがお店を訪れる。
- ⇒子供に付き添う親がケーキを購入することで、お店の売り上げにつながる。



商店街のスタンプラリーカード

## ■Patisserie Lazry (パティスリーラズリー)

営業時間：10：00～19：30

定休日：第1、第3月曜日、毎週火曜日（祝日の場合は営業）

住所：愛知県刈谷市半城土中町 2-28-17

TEL：0566-28-6778

WEBページ：http://www.razry.co.jp/

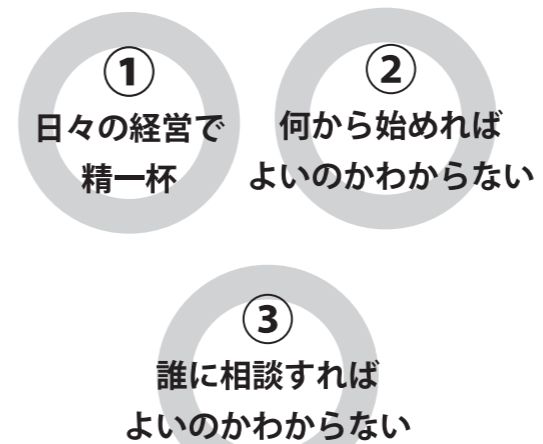


## コラム③ 事業承継への取組を先送りしている

### 事業承継には5年から10年もかかる

会社としてこれからも存続できるにも関わらず、事業承継の進め方、実情に対する認識が不足しており、事業承継への着手を先送りしたために後継者を確保できなかったというケースもあります。後継者の育成期間を含めれば、事業承継には5年～10年を要するものと考えられます。

### ■事業を先送りしてしまう背景



### ■事業承継の準備期間（年齢別）

	0	20	40	60	80	100%
40歳代 (n=41)	33.3	7.3	36.6	36.6		
50歳代 (n=60)	33.3	11.7	30.0	25.0		
60歳代 (n=1115)	42.9	29.9	19.7	7.5		
70歳代 (n=368)	49.5	30.7	15.2	4.6		
80歳代～ (n=65)	47.7	32.3	15.4	4.6		

■既に準備している ■これから準備をする  
■現時点では準備をしていない ■現在は事業承継を考えていない

資料：日本政策金融公庫総合研究所「中小企業の事業承継に関するインターネット調査」（2016年2月）再編加工

### プラスα

経営者の平均引退年齢は70歳前後。後継者の育成期間を踏まえると60歳ごろには事業承継の準備をスタートしたいところです。

資料：「経営者のための事業承継マニュアル」（中小企業庁／2017年3月）再編加工